

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	リハビリテーション医学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時限	前期	教室名	302
担 当 教 員	高田 秀志	実務経験と その関連資格	理学療法士として回復期病院やデイサービス等で地域医療に従事。福祉住環境 コーディネータ2級取得。地域医療政策講座にて医科学修士を取得。			
《授業科目における学習内容》						
基礎医学で学んだ知識を基に、リハビリテーションの対象になる各種疾患の障がい像、リハビリテーションのかかわりを学 ぶ。						
《成績評価の方法と基準》						
授業態度、課題レポート、筆記試験の総合評価とする。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
PT・OTビジュアルテキスト リハビリテーション医学 第1版						
《授業外における学習方法》						
事前に指定テキストを読んでおく。						
《履修に当たっての留意点》						
授業中に口頭試問等行う。						
授業の 方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第 1 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	リハビリテーション医学総論について学び、説明できるようにな る。		テキスト、配布資 料	リハビリテーション医学 総論についてのテキスト の箇所を読んでおく。
		各コマに おける 授業予定	リハビリテーション医学総論			
第 2 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	脳疾患の評価・治療について学び、説明できるようになる。		テキスト、配布資 料	診断・評価と治療につ いてのテキストの箇所を 読んでおく。
		各コマに おける 授業予定	脳血管疾患のリハビリテーション			
第 3 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	整形外科疾患の評価・治療について学び、説明できるようになる。		テキスト、配布資 料	診断・評価と治療につ いてのテキストの箇所を 読んでおく。
		各コマに おける 授業予定	整形外科疾患のリハビリテーション			
第 4 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	内部疾患の病態、症状、治療、リハビリテーションについて学 び、説明できるようになる。		テキスト、配布資 料	脳疾患についてのテキ ストの箇所を読んでお く。
		各コマに おける 授業予定	内部疾患のリハビリテーション			
第 5 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	神経筋疾患の病態、症状、治療、リハビリテーションについて 学び、説明できるようになる。		テキスト、配布資 料	神経筋疾患についての テキストの箇所を読んで おく。
		各コマに おける 授業予定	神経筋疾患のリハビリテーション			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	脊髄疾患の病態、症状、治療、リハビリテーションについて学び、説明できるようになる。	テキスト、配布資料	脊髄疾患についてのテキストの箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	脊髄疾患のリハビリテーション		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	関節リウマチの病態、症状、治療、リハビリテーションについて学び、説明できるようになる。	テキスト、配布資料	関節リウマチについてのテキストの箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	関節リウマチのリハビリテーション		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	小児疾患の病態、症状、治療、リハビリテーションについて学び、説明できるようになる。	テキスト、配布資料	小児疾患についてのテキストの箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	小児疾患のリハビリテーション		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			